

平成 29 年 10 月 4 日

東京農業大学総合研究所研究会会員
東京農業大学教職員・学生
農協等関係者 各位

東京農業大学総合研究所研究会
農業協同組合研究部会長 白石 正彦
GIS 研究部会長 鈴木 充夫

地域特性を発揮する総合農協のビジョン再構築と
営農指導・営農経済事業の高度化システムに関する
第 10 回シンポジウムのご案内

日本の食料・農業・農村は、人口減少・高齢化や担い手農業者の世代交代、さらに T P P / E P A など弱肉強食のグローバルな規制緩和や農協への不公正な介入政策、食料自給率低下への懸念、I O T などの情報技術革新、農業の 6 次産業化、農と食の地産地消活動の広がり、市民における農の多面的価値の重視傾向、世界的な和食への関心の高まりなど、大きな転換期を迎えています。

本年度のシンポジウムは、“多様な担い手経営体の持続的な農業所得増大”を重視して「地域特性を発揮する総合農協のビジョン再構築と営農指導・営農経済事業の高度化システム」をテーマに開催します。

第 1 報告では、“総合農協の組織力と事業経営力を相乗的に発揮する地域特性発揮のビジョン再構築と営農指導・営農経済事業の高度化システムの論点”について、国内外の研究や実践面の動向もふまえて明らかにします。

第 2 報告では、“総合農協の地域特性発揮の営農指導事業システムの高度化方策について”を農地中間管理機構と地域農業の動向をふまえて明らかにします。

第 3 報告は、地域特性発揮の単位総合農協機能を補完する連合組織の役割発揮について、新たな T A C 推進活動における Z-G I S の開発と普及を中心に“J A 全農・耕種総合対策部の実践事例”を中心に明らかにします。

第 4 報告は、水田農業を中心とした集落営農組織にて、S G I S による農地情報の活用と農地管理の効率化等に取り組む“茨城県・駒場営農組合の実践事例”を報告します。

第 5 報告は、東北の中山間平地農村地域の多様な担い手経営体の持続的な農業所得増大に向けた総合農協の地域特性発揮のビジョン再構築と営農指導・営農経済事業システムの高度化の現状と課題を“岩手県・J A いわて花巻の実践事例”を中心に明らかにします。

第 6 報告は、都市農業基本法の制定で都市農地/都市農業は存続させるべきだという大都市像の大転換のなかで、多様な都市農業の担い手経営体の持続的な農業所得増大と都市市民との共生に向けた都市型総合農協の地域特性発揮のビジョン再構築と営農指導・営農経

済事業システムの高度化の現状と課題について“東京都・JA世田谷目黒の実践事例”を中心に明らかにします。

以上の報告に対して4名の方からコメントを頂き、主題としての多様な担い手経営体の持続的な農業所得増大に向けた地域特性発揮のJAビジョン再構築と営農指導・営農経済事業の高度化システムについて活発に論議を深めたいと考えます。

本シンポジウム終了後には学内で交流会を予定しておりますので、農協の組合員・役職員、農協と取引関係にある関係者（本学総研の農協研究部会、GIS研究部会の会員を含む）、農協に関心のある市民、本学の教職員・学生（留学生を含む）の参加を大いに歓迎いたします。

記

1. 日 時：平成29年11月20日（月）13時～
2. 会 場：東京農業大学世田谷キャンパス1号館 541教室
3. 主 催：東京農業大学総合研究所 農業協同組合研究部会、GIS研究部会
協 賛：株式会社協同経済経営研究所、全国共同出版株式会社
4. 参加申込み方法
別紙参加申込書に必要事項を記入の上、11月13日（月）までに下記の電子メールまたはFAX宛てに送信してください。
 - ① 電子メール mshirais@nodai.ac.jp（農業協同組合研究部会長 白石正彦宛）
 - ② FAX番号 050-3730-0059
5. 参加費：シンポジウム 無料／（交流会 3,000円）
6. シンポジウムの進行
 - 1) テーマ：「地域特性を発揮する総合農協のビジョン再構築と営農指導・営農経済事業の高度化システム」
 - 2) 13:00～13:05：開会のあいさつ
 - 3) 13:05～13:15：第1報告
テーマ「“総合農協の組織力と事業経営力を相乗的に発揮するビジョン再構築と営農指導・営農経済事業の高度化システム”の論点について」
講師：白石 正彦（東京農業大学 名誉教授、総研研究会農業協同組合研究部会長）
 - 4) 13:15～13:30：第2報告
テーマ「“地域特性発揮の総合農協のJA営農指導事業システムの高度化方策”
－農地中間管理機構と地域農業の動向を踏まえて－」
講師：鈴木 充夫（東京農業大学 客員教授、総研研究会GIS研究部会長、（株）協同経済経営研究所所長）
 - 5) 13:30～14:05：第3報告
テーマ「JAグループにおける“単位JA機能を補完する連合組織の地域特性発揮のTAC推進活動”－Z-GISの開発と普及を中心に－」
講師：宗 和弘（JA全農 耕種総合対策部TAC推進課）

6) **14:05～14:40 : 第4報告**

テーマ「集落営農組織にてSGISを活用した農地管理・持続的な集落営農への
取り組み ―茨城県茨城町の駒場営農組合を中心に―」

講師：長谷川 重幸（茨城県・駒場営農組合代表、茨城県県議会議員）

<休憩>14:40～14:50

7) **14:50～15:25 : 第5報告**

テーマ「東北中山間平地農村地域の“地域特性発揮の総合農協のビジョン再構築と
営農指導・営農経済事業システムの高度化の現状と課題” ―岩手県・
JAいわて花巻を中心に―」

講師：阿部 勝昭（岩手県・JAいわて花巻 代表理事組合長）

8) **15:25～16:00 : 第6報告**

テーマ「“大都市の地域特性発揮の都市型総合農協のビジョン再構築と営農指導・営
農経済事業システムの高度化の現状と課題” ―東京都JA世田谷目黒
を中心に―」

講師：飯田 勝弘（東京都・JA世田谷目黒 経営役員会会長）

9) **16:00～16:40 : コメント**

コメンテーター：堀部 篤（東京農業大学准教授、総研研究会農業協同組合研究部
会幹事）

梶井 功（東京農工大学 名誉教授）

勝又 博三（JC総研 理事長）

松岡 公明（農林年金 理事長）

<休憩>16:40～16:50

10) **16:50～17:40 : 一般討論**

11) **17:40～17:45 : 閉会のあいさつ**

7. 交流会：17・18号館1階「レストランすずしろ（松木家）」 18:00～19:40

電話：03-3420-4116 交流会会費：3000円

8. 問い合わせ：

農業協同組合研究部会長 白石正彦宛 e-mail (mshirais@nodai.ac.jp)

GIS研究部会長 鈴木充夫宛 電話：03-5809-0824/e-mail (msuzuki@nodai.ac.jp)

9. 会場へのアクセス：東京農業大学ホームページ(<http://www.nodai.ac.jp/>)でご確認ください。 ※東京農業大学世田谷キャンパス 所在地：東京都世田谷区桜丘1-1-1

以 上

<FAX&メール 送付用紙>

送付日：平成 29 年 月 日

東京農業大学総研GIS研究部会長

鈴木 充夫 宛て (FAX:050-3730-0059)

東京農業大学総合研究所農業協同組合研究部会・GIS研究部会共催

「総合農協に関するシンポジウム・交流会への参加申込書」【11月20日(月)開催】

(該当欄に○印を記入して11月13日(月)までに必着でお送りください)

	シンポジウムのみ参加	
	シンポジウム及び交流会の両方に参加	
	交流会のみ参加	
所 組 織	属 名	
参 加 氏	者 名	
所 在 地		
電 話 番 号		
F A X番号または 電子メールアドレス		
備 考		

*電子メールでの申込み⇒(mshirais@nodai.ac.jp:白石正彦宛)